市民のひろば

市民文化の祭典

〝芸術の秋〟の到来です。
あなたも参加しませんか。多くの市民の参加を待っています。

■文化祭

11月18日(火)～12月2日(火)
会場・社会福祉センターと大篠公民館
催し物・展示部門（絵画、書道、写真、俳句、短歌、生花、茶道）舞台部門（音楽、日本舞踊、剣詩舞、箏曲、謡曲、着物着付）

■美術展

11月30日(日)～12月7日(日)
会場・市民体育館
一般の部・洋画・工芸・書道、漫画、写真、日本画　、、、
児童、生徒の部・図画（絵画、版画、デザイン）工作（工作、調塑、工芸、立体作品）習字（毛筆、条巾、硬筆、ペン字）写真。

詩吟・剣詩舞で 精神文化の高揚を

昨年度より、南国市中央公民館文化活動として始めました詩吟剣詩舞も、はや二年目になりました。

第一回目の文化祭には、未熟ではありましたが初出演をし、その後練習を重ね、本年度は高知市の文化祭に招かれて賛助出演をいたしました。

思いのほか好評をいただいたことにより、部員一同意を強くして、目下第二回目の南国市の文化祭を目標に練習に励んでおります。

詩歌は、人の心の表現であり、すぐれた詩歌は人類文化の遺産でもあります。

私たちの先達はこの詩歌を吟じ、その吟により舞うことを考え、芸としての向上進歩を目ざして精進努力を重ね、吟詠剣詩舞というわが国独自の高雅な芸道を育て上げてくれました。

吟剣詩舞道は、礼と節をその心とし情操を高めると共に、日本民族の心を探究しながら自己の陶冶を志向するものです。

私たちは、この価値ある道を受け継いだことに大きな誇りをもち、この芸道をぜひ皆さんにもおすすめし、ともに精神文化の高揚に励みたいと思っております。

講師の長崎包月先生は、この道の大家であり、多数の子弟の育成に努力されておりまして、その貴重な時間を割いて毎週土曜日の午後七時から市立中央公民館において講習くださっています。

このような立派な先生が、出張教授をしてくださっていることは、市民の皆さん方にも絶好の機会ではないでしょうか。

どなたでもお気軽に入会できます。市立中央公民館までお申し込み下さい。

井上笑子（大埇）

映画「砂の器」を見る

重厚な旋律の中に
いたましい宿命を見る
青年作曲家の脳裏にうずまく
運命の嵐よ
くだける波のように
とどろくはやてのように
はげしく悲惨のかの日日を思う
悲しい父のおもかげも
ただ旋律の上をつっぱしる
消えよ消えよ過去をほうむれ
暗い宿命をつきはなし
栄光の人生を勝ちとろう
けれど砂の器はくずれる
もろくくずれる
いつわりの道をあばかれ
弱い人間の心のように
君がきずいた栄光の座も
約束された華しょくも……

刈谷益子（後免）

広報委員の目

国際婦人年

今年一九七五年は、国連が全世界の婦人の地位向上のため宣言した国際婦人年です。テーマと内容は次のようになっています。

平等―男女平等の促進と政策決定への婦人の参加
発展―婦人の能力開発と経済、社会、文化の発展への婦人参加
平和―国際友好と世界平和への婦人の貢献

南国市でも去る六月二十八日に、国際婦人年南国市大会が盛大に開かれました。市内全域の婦人が一堂に会し、思想信条主義主張を越えて、意志の疎通を計り、共通の話題を見つけて婦人の地位向上のため一歩でも前進しようということが目的でした。

各種団体の協力による寸劇「女の道よなぜけわし」の中で、中心テーマがわかりやすく解説され、婦人解放のため苦難の道を歩まれた先駆者をしのび、昭和二十一年の総選挙で初めて手にした一票に感激の涙を流しました。

戦後婦人の活動はめざましく、各方面に進出し社会の進歩に貢献したけれど、婦人の地位は必ずしも確立していないと今後の問題点を確認して拍手かっさいで幕となりました。

男女平等には、婦人の社会的役割と家庭的役割の調和が常にあいろとなっておりますが、育児休業が法制化されたことは大きな前進であると思います。婦人の権利を確立するためには婦人たち自身が、権利について学び、行動しなければなりません。

過日の市議選運動の期間中に、広報車から流れて来る婦人の力強い声を聞きながら、近い将来に、この方達がみずから立候補され、堂々の論陣を張られたならすばらしいなあ……と考えました。

婦人のみなさん頑張りましょう。

〔浜田〕

国際婦人年シンボルマーク

市民の声

広報なんこくではあなたの投稿をおまちしています。市政に関する建設的な意見などをおよせください。
あて先・大埇甲二三〇一
企画財政課内、広報委員会

交通事故の事後処理は

これは市政には直接関係のない事かも知れませんが、後のことが環境整備の方にもつながることですのでおたずねいたします。

私の家は国道五十五号線沿いにあり、また近くに前浜通りの三叉路があり月一件くらいの割合で自動車事故があります。先日も朝八時ごろ、四～五重衝突があり、車のガラスが道の中央にたくさん飛散っていました。

朝夕、小中学生が自転車で通るところですので早く後仕末をしたいと思いましたが警察の方もいろいろ調べなくてはならないから、中へ入ってはいかん、と言われるし、私もいつ済むかわからないものを立って待つわけにもいかないので自宅に帰って、また次に現場へ出て行ってみますと警察の方も帰った後で、たくさん飛散ったガラスの破片を他の車がザザーと散らかしながら通っている仕末でした。日中はとても危なく、掃除のしようもありません。そこを通る車のはねた破片が当ってとても痛い思いもしましたし、また子どもが自転車通学中に転倒して怪我でもしたらと、思わずヒヤ汗が出たことでした。

結局、翌日早朝、まだ車の通らない時に掃除をしましたが、このような場合の事故の事後処理は誰がするのでしょうか。

現場検証がすめば警察の方が後仕末をしてくれるなり、また、近所の者に声をかけてくださりさえすれば私たちは後仕末をいたします。後をほったらかして行かれたのでは道路もきたないし、それより大変危険ですので、その仕をはっきりしていただきたいと思います。

（市政モニター・H）

南国歌壇

晴天に猫の五匹はたわむれて
とんぼのかげを玉に取りおり
里改田　楠瀬米井

受話機に息子の温もりの言葉きて
夫呼びやりつ希のかけら
前浜　沢田千恵子

虹と見し己が臓腑に別れ告ぐ
秋天に城を画きて刀研ぐ
老兵の死後も海鳴り秋桜
綿虫の流れ早まりつつ消えぬ
見付かれば忘れ扇となってゐし
伸び足りて白く続けりそば畑
稲株を踏み刈進むコンバイン
次々と穴に米引く宮の蟻
稲扱ぐや追っかけ雨にまた天幕

五号台風来つつある日の静かにて
大き夕焼のまま夜となる
岡豊町　橋田井波

たるみきて水のたまれるビニールを
はじけば白き冬の陽ちりぬ
永田　北村ますえ

南国俳壇

和田ひでみ（岩村句会）
和田　幸郎（　〃　）
西川　洋水（　〃　）
高橋　以登（国分梵鐘会）
竹内とし子（　〃　）
林　光江（　〃　）
与田　善信（波俳句会）
西村　常井（　〃　）
竹島いはほ（　〃　）